

# 全国に情報発信

## アセットブレインズ仙台ネットワーク

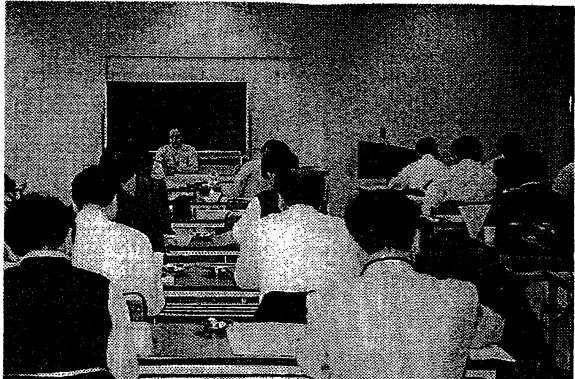
### 文化・トレンド

# 研究、セミナー、相談会 秋にユーザー向けHP

仙台市の不動産業者や建築士、法律実務家らが連携して資産の有効活用を研究し、ビジネスチャンスを生み出す「アセットブレインズ仙台ネットワーク」の活動が、結成以来4年目を迎える。これまで、ペット同居型マンションや不動産証券化などをテーマに取り上げ、さまざまな角度から仙台圏の不動産活用を模索してきた。秋には新たにユーザー向けのホームページもスタートし、全国に向けた情報発信を行いながら、幅広いサービスをしていきたいとしている。

同ネットワークは98年9月、宮城県内の不動産業者、産活用の手法や消費者契約、置、独自のアンケート調査らが中心となって結成。中法、金融商品販売法など最新田町の米穀流通業「中利」の法令について解説。引「アーバン開発」（仙台市泉区）が事務局となり、会員は不動産鑑定士や開発ブランナー、銀行、保険関係者など約60人。

研究会は、毎月1回開かれており、会員や外部の専門分科会も開催。これまでに「高齢者対応マンション」や「不動産証券化」について、会員による研究報告書がまとめられた。また、一般企業を対象とした資産活用セミナーを実施するほか、テーマごとの「コンサルティング業務に関するセミナー」や「相続対策」「店舗開発」などテーマを定め、専門家らによるプロジェクトを組織。法務、税務の問題につ



研究会では最新の資産活用が報告される―仙台市内

「ペット同居型マンション」事業化については、仙台圏にペットとの同居を前提とした専用施設を備えた賃貸マンションがほとんどないことに着目して、99年

いても会員の税理士らが対応に当たる。秋から開始される予定のユーザー向けのホームページには、担当専門家のプロフィールや業務内容をはじめ、資産活用に関するケーススタディや質問箱などの項目の掲載が予定されている。

今後の展開について、佐々木正之事務局長は「将来的には法人化して、オーナースクラップ的なものにしていきたい」という構想もある。しかし、研究会などを通じて、会員個々人の資産をさらに高めていくことが重要」と話す。

現在、仙台圏でも全国同様、地価の下落で、遊休地活用がなかなか進まないのが実情。それだけに、同ネットワークでは「ホームページを通じて、全国の目を仙台圏にも向けてもらいたい」というのが実感。利用者のニーズに合った情報を提供していきたい」と話している。

問い合わせ先はアセットブレインズ仙台ネットワーク事務局、電話022(773)6605まで。